



SHIBETSU ROTARY CLUB DISTRICT 2500 JAPAN

士別ロータリークラブ会報

Vol.019

No.2911

創立 1960・3・24

RI 第 2500 地区

2025-2026 年度 国際ロータリー・テーマ
会長 フランチェスコ・アレツォ
「よいことのために手を取り合おう」

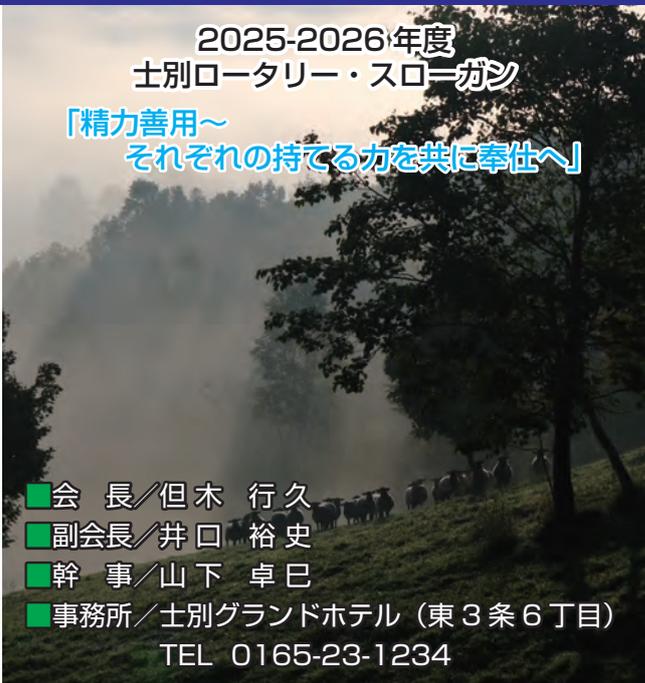
UNITE FOR GOOD

2025-2026 年度 RI2500 地区・スローガン
「Rotary のことを熱く語ろう！
～ Rotarian Benefits を紡ぎ、そして育むために～」

- RI HP <https://www.rotary.org/ja>
- 2500 地区 HP <https://2025-2026.rid2500.jp/>
- 士別 RC HP <http://www.douhoku.jp/sibeturc/>
- 例会場／士別グランドホテル
- 例会日／毎週月曜日 12:10～13:10

2025-2026 年度
士別ロータリー・スローガン

「精力善用～
それぞれの持てる力を共に奉仕へ」



- 会長／但木 行久
- 副会長／井口 裕史
- 幹事／山下 卓巳
- 事務所／士別グランドホテル（東 3 条 6 丁目）
TEL 0165-23-1234

第 3005 回例会 2026 年 2 月 2 日（月）

今日のプログラム：例会・理事会

● 前回（1 月 26 日）の記録／夜間例会

司 会 片庭隆暁 会場監督
 斉 唱 それでこそロータリー・四つのテスト
 本日の出席 会員 44 人中 出席者 44 名 出席率 100%

ニコニコ BOX 鈴木春樹（上川管内社会教育委員連絡協議会表彰受賞）
 但木行久（士別柔道連盟会長就任）
 深尾幸夫、大橋直幸（誕生日）

累計 196,000 円

● 例会予定

◆ 2月例会（平和構築と紛争予防月間）

- 2月 2日（月） 例会・理事会
- 2月 9日（月） 例会
- 2月 16日（月） 夜間例会
- 2月 23日（月） 休会（法定休日：天皇誕生日）

◆ 3月例会（水と衛生月間）

- 3月 2日（月） 例会・理事会
- 3月 9日（月） 特別休会
- 3月 16日（月） 例会
- 3月 23日（月） 早朝例会
- 3月 30日（月） 夜間例会

■会務報告・・・但木行久 会長

皆さんこんばんは。

本日は、私ごとで恐縮ですが、先般行われた士別柔道連盟総会にて、会長職を拝命されましたので、この機会に、私を育ててくれた、士別誠心館道場のご紹介をさせていただきたいと思います。

昭和12年に、初代鈴木館長が道場を設立され、昭和45年、現在のスポーツ少年団を結成、その後、

現在の道場を新築し、平成25年に現在の鷺見先生が三代目館長を継承しました。

数々の優秀な選手を輩出する中、二代目館長の鷺見卓夫先生の弟子である先生方が、士別での修業を終え、全国に道場を立ち上げていきました。

長野誠心館道場では2年前の、2024年パリオリンピック、金メダリストの出口クリスタ選手。

旭川誠心館大雪道場からは、上野三姉妹で有名な、上野雅恵選手がアテネオリンピック、北京オリンピックで金メダルを獲得し、2連覇を達成しています。

青森大間誠心館道場からは、アテネオリンピック銀メダルの泉浩選手を輩出。

他にも、函館誠心館道場、福島いわき誠心館道場も活躍しています。

柔道の普及活動を通して、青少年の健全育成、社会貢献を目指した、士別誠心館道場の門下生は2000人を超え、来年は道場創立90周年を迎えます。

この歴史と伝統ある士別柔道連盟、士別誠心館道場を引き継ぎ、重責を担う事は、今まで指導をいただいた、沢山の恩師への恩返しであると考え、これからも柔道の素晴らしさを伝えながら、社会に貢献できればと考えております。

道場を卒業していく子供たちに、毎年、私がいつも送っている言葉でもあり、10年前、士別ロータリークラブに入会した際に、新入会員卓話で、お話しさせていただいた、相田みつお先生の名言を10年ぶりにご紹介したいと思います。

柔道の基本は受身。

受身とは、投げ飛ばされる練習。人の前で叩きつけられる練習。

人の前でころぶ練習。人の前で負ける練習です。

つまり、人の前で失敗をしたり、恥をさらす練習です。

自分のカッコの悪さを多くの人前で、ぶざまにさらけ出す練習。それが受身です。

柔道の基本では、カッコよく勝つことを教え

ない。

素直に転ぶことを教える。いさぎよく負けることを教える。

長い人生には、カッコよく勝つことよりも、ぶざまに負けたり、だらしなく恥をさらすことのほうが、はるかに多いからです。

だから柔道では始めに負け方を教える。

しかも、本腰を入れて、負けることを教える。その代り、転んでも、すぐ起き上がる。

負けても、すぐ立ち直る。

それが受身の極意。極意が身につけば達人だ。

若者よ 失敗を気にするな、負けるときにはさらりと負けるがいい。

口惜しいときには「こんちくしょう！」と、正直に叫ぶがいい。

弁解なんか一切するな。泣きたいときには、思いきり泣くがいい。

やせ我慢などすることはない。その代り、スカッと泣いて、ケロリと止めるんだ。

早くから勝つことを覚えるな。負けることをうんと学べ。恥をさらすことにうまくなれ。

そして下積みや下働きの、苦しみをたっぷり体験することだ。

体験したものは身につく。身についたもの、それは本物だ。若者よ、頭と体のやわらかいうちに、受身をうんと習っておけ。

受身さえ身につけておけば、何回失敗しても、すぐ立ち直ることができるから・・・

そして、負け方や受身の本当に身についた人間が、世の中の悲しみや苦しみに耐えて、他人の胸の痛みを、心の底から理解できる、やさしい暖かい、人間になれるんです。

そういう悲しみに耐えた、暖かい心の人間のことを、観音さま、仏さま、と呼ぶんです。

以上会務報告と致します。

以上会務報告と致します。

■幹事報告・・・井口裕史 副会長

①今週28日水曜日に17時30分から第1回IM運営委員会を開催致しますので、出席義務者の会員は出席をお願い致します。尚、お弁当は17時よりご用意しております。

■委員会報告・・・

泉谷 勇 IM運営担当幹事

明後日17時30分より第1回IM運営委員会を開催致します。ガバナー補佐が出席の予定でしたが、本日連絡が来てメンバーの不幸があり来られなくなりました。日程の変更も考えましたが、会長とも話し合い早急に組織図などを決めなければならない議題がありますので28日にそのまま開催となりました。17時よりお弁当を用意しておりますので、出席義務者の会員は出席をお願い致します。